

【A.T. カーニー調査】 2023年 海外直接投資信頼度ランキング 米国が11年連続首位。日本は順位をあげ3位へ

本プレスリリースは、2023年3月30日（現地時間）に A.T. Kearney より米国で配信された英語版の抄訳です。

経営コンサルティング会社 A.T. カーニー（東京都港区、日本代表：関灘 茂）は、2023年 海外直接投資信頼度指数(The 2023 Kearney Foreign Direct Investment Confidence Index®、以下 FDICI) 調査結果を公開し、投資先として魅力のある国上位 25 カ国を発表しました。

今年も米国が首位の座を維持し、2 位にはカナダが浮上、日本は昨年より順位をひとつ上げ 3 位でした。

今年で 25 年目を迎える当調査は、将来の海外直接投資（FDI）における投資家心理をまとめたもので、今回の結果は世界経済に対する投資家の慎重な楽観論を反映しています。実際、4 分の 3 以上(82%)の回答者が、今後 3 年間で FDI の増加計画があると述べており、86%は今後 3 年間で企業の収益性と競争力にとって FDI がより重要であると述べています。しかし、この前向きな心理は、下振れリスクに対する懸念によって抑えられています。

当 FDICI 調査報告書の著者で、A.T. カーニーのマクロ経済部門シンクタンクであるグローバル・ビジネス・ポリシー・カウンシル（GBPC）のパートナー兼マネジング ディレクターであるエリック R. ピーターソン(Erik R. Peterson) のコメント：

「投資家は 海外直接投資の見通しについて概して楽観的ですが、今回の調査結果はある程度の慎重さを反映しています。今後 3 年間の最大のリスク要因として、商品価格の上昇、地政学的緊張の高まり、新興市場における政治的不安定性の高まりを挙げています。」

米国は 11 年連続で首位。昨年 3 位のカナダは今年は 2 位に浮上、日本は昨年の 4 位から 3 位へと順位を上げました。昨年 2 位のドイツは順位を下げ今年は 4 位となりました。これは、東ヨーロッパの地政学的危機により経済とエネルギーの問題に直面した結果と考えられます。英国は 5 位を維持し、フランスがすぐ後に続きます。中国が 10 位から 7 位に急上昇したのは、おそらく 2022 年第 4 四半期到北京がゼロコロナ政策を撤回したことが原因と思われます。今回の調査でも、先進国市場に対する投資家の選好が示されており、指数の 25 カ国中 19 カ国を占めました。

2023年 A.T. カーニー 海外直接投資信頼度ランキング

The 2023 Kearney Foreign Direct Investment Confidence Index®

2023年 順位	国名	前年との 比較
1	米国	±0
2	カナダ	+1
3	日本	+1
4	ドイツ	-2
5	英国	±0
6	フランス	±0
7	中国（香港を含む）	+3
8	スペイン	±0
9	シンガポール	+9
10	オーストラリア	+1
11	イタリア	-4
12	スイス	-3
13	オランダ	+2
14	ポルトガル	+5
15	ニュージーランド	-3
16	インド	ランク外
17	スウェーデン	-4
18	UAE（アラブ首長国連邦）	-4
19	韓国	-3
20	デンマーク	+1
21	カタール	+3
22	ノルウェー	+1
23	タイ	ランク外
24	サウジアラビア	ランク外
25	ベルギー	-8

* 最新版および過去の調査報告書全文（英語）はこちらをご覧ください
<https://www.kearney.com/foreign-direct-investment-confidence-index>

今回の調査で、ビジネスリーダーたちが、グローバル化が海外直接投資の牽引力であり、今後もそうあり続けると考えていることも明らかになりました。回答者の約 3 分の 2(66%)が、今後 3 年間でグローバル化が進むと予想しているのに対し、低下すると予想しているのはわずか 23%でした。グローバル化の拡大を予想する人々は、主要な推進力として、拡大する貿易機会と制限された貿易障壁に加えて、コネクテッド（接続された）デジタル・インフラストラクチャの組み合わせを挙げています。しかし投資家は、グローバル化が変化していることも認識しています。

当 FDICI 調査報告書の共著者で GBPC のマネージャーであるテリー・トーランド（Terry Toland）のコメント：「当社の調査結果は、投資家がグローバル化の利点を信じており、それが強化されることへの期待を示していますが、彼らはまた、今後 3 年間でさらに地域化が進み、各国政府が自給自足を高めるための戦略を追求するだろうと予想しています。このような結果は、グローバル化が続く一方で、その性質は変化している可能性があり、ビジネスリーダーたちはそれに応じて準備する必要があるという認識を示唆しています。」

###

■ 調査概要

Kearney Foreign Direct Investment Confidence Index®（海外直接投資信頼度指数）調査は、グローバル企業経営者層を対象とした年次調査で、今後 3 年間に大きな投資を呼び込む可能性が高いと思われる市場を順位付けしています。海外直接投資（FDI）の流れを振り返る、いわば後方視的な他のデータとは異なり、投資家が今後数年間にどの市場をターゲットとして海外直接投資を行うかについて、独自の前方視的な分析を提示するものです。1998 年の調査開始以来、海外直接投資信頼度指数調査でランクインした国々と、その後数年間の実際の海外直接投資フローにおける上位投資先との間には密接な相関が見られます。

「2023 年海外直接投資信頼度指数」調査は、世界の大手企業の上級幹部を対象とし、2023 年 1 月に実施した独自調査から得た一次データを使用して作成されました。回答者の役職は CxO レベルの役員や地域統括責任者など。調査対象企業の年間売上高は 5 億ドル以上。調査対象企業の本社所在地は世界 30 カ国にまたがり、業種は全産業セクターにわたります。調査対象国は国際連合貿易開発会議（UNCTAD）のデータに基づき選定。当指数に含まれる 25 カ国で、近年の全世界における FDI フローの 95%超を占めています。回答企業はサービスセクター企業が約 50%、工業系企業が 37%、IT 企業が 12%となっています。

当指数は今後 3 年間の対市場直接投資見込みに関する質問に対する高、中、低の回答の加重平均で計算されおり、指標数値は当該国から見て海外市場に拠点を置く企業のみ回答に基づいて計算されています。例えば米国の指標数値は米国に本拠地を置く投資家の回答を除いて計算されており、指標数値が大きいほど投資先としての魅力度が高いことを示しています。

当調査報告に記された経済成長を表す数値はすべて、特に記載がない限りオックスフォード・エコノミクスからの最新予測となっており、その他の二次ソースには、投資促進機関、中央銀行、財務省、産業・貿易省、関連ニュースメディア、その他の主要データソースを活用しました。

* 最新版および過去の調査報告書全文（英語）はこちらをご覧ください

<https://www.kearney.com/foreign-direct-investment-confidence-index>

本件に関するお問合せ先：

A.T. カーニー 広報

メール：Japan.PR@kearney.com

A.T. カーニー（グローバル・ブランド名は KEARNEY）は、1926 年に米国シカゴで創業、1972 年に日本に進出しました。高度な専門性、目に見える成果の実現、顧客企業との密接な協働作業を最大の強みとし、現在では、世界 40 以上の国と地域、約 60 拠点に、約 4,200 名のスタッフとグローバルネットワークを擁しています。あらゆる主要産業分野のグローバル 1,000 社や各国の大手企業や政府系機関等を中心顧客とし、戦略からオペレーション、IT にいたるまで一貫した高品質のサービスを提供しています。詳しくは Web サイトをご覧ください。www.jp.kearney.com